

● ● ● 目 次 ● ● ●

第1章 文章術の前に	1
1.1 読者のために、あなたのために、わかりやすい文章を書こう	1
1.1.1 文章は、読者にわかって貰うために書く	1
1.1.2 わかりやすい文章を書こう	2
1.2 文章の理解とは	3
1.2.1 知らないことは理解できない	3
1.2.2 筋の通らないことは理解できない	5
1.3 記憶の仕組み	6
1.3.1 作業記憶と長期記憶	6
1.3.2 文章理解の場：作業記憶	7
1.4 わかりやすい文章とは	8
第2章 文章の構成要素	11
2.1 文章の構成	11
2.1.1 文章を構成する項目	11
2.1.2 構成項目に関する注意事項	14
2.2 章・段落	21
2.2.1 章・段落とは何か	21
2.2.2 章・段落の構成に関する注意事項	22
2.3 文	24
2.3.1 文とは何か	24
2.3.2 文の構成要素	26

第3章 文章全体としてわかりやすくする術	29
3.1 骨格を練る	29
3.2 無駄な情報を削る	35
3.2.1 無駄な情報の弊害	35
3.2.2 骨格の各部位が必要かどうかの判断基準	36
3.2.3 文が必要かどうかの判断基準	39
3.3 一度に一つの話題だけを扱う	40
3.3.1 複数の話題が混ざっていることの弊害	40
3.3.2 章立ての仕方：一つの章では一つの大きな話題 だけを扱う	42
3.3.3 段落立ての仕方：一つの段落では一つの話題だ けを扱う	45
3.4 何の話をするのかを前もって知らせる	49
3.4.1 見出しをつける	50
3.4.2 章・段落の冒頭で、扱う話題または扱う話題と 回答を明示する	53
3.4.3 回答の概要を述べてから細部の説明に入る	56
3.4.4 次に来る文の位置づけを教える	57
3.5 前の文の要素を、次の文の話題とする	58
3.5.1 扱う話題のつなげ方	59
3.5.2 読者が待っている情報を与える	63
3.6 読者が知らないであろうことは説明する	64
3.7 重要なことから述べる	65
第4章 一つ一つの文をわかりやすくする術	67
4.1 わかりやすい文を書くための心構え	67
4.2 一つの文で一つのことだけを言う	70
4.2.1 一文に一情報を守るべき理由	70
4.2.2 一文に一情報にするコツ	71

4.3	語順：重要な要素を先にする	78
4.3.1	扱う話題を先にする	78
4.3.2	扱う話題を読者がわかっている場合は主張を先に にする	80
4.4	語と語との修飾関係を明確にする	80
4.4.1	修飾関係がわかりにくい原因	80
4.4.2	長い修飾語を先に、短い修飾語を後に	87
4.4.3	短い修飾語を先にするとき、その後ろにテンを	89
4.4.4	長い修飾語の後に長めに文が続くとき、その長 い修飾語の後ろにテンを	90
4.4.5	意図せぬ修飾関係を生まないように配置	93
4.4.6	修飾関係を断ち切りたいとき、そこにテンを	94
4.5	係り受けを確認する	96
4.6	漢字とカナの混じり具合	98